

平成 29 年度 第 4 回 大江町教育委員会の会議結果について

平成 29 年 9 月 1 日

大江町教育委員会

- 日 時 : 平成 29 年 9 月 1 日 (金) 午後 4 時 00 分～午後 4 時 25 分
- 場 所 : 大江町中央公民館 応接室兼講師控室
- 出席委員 : 犬飼教育長、白田委員、鈴木委員
- 欠席委員 : 山家委員、阿部委員
- 教育長報告 ①平成 29 年度全国学力・学習状況調査の結果について

- 議 事 原案のとおり可決されました。
 - 議第 4 号 平成 29 年度大江町教育事務事業点検・評価報告書 (平成 28 年度分) について
 - 議第 7 号 大江町教育費予算 (平成 29 年度一般会計補正予算 (第 2 号)) に対する意見の申出について

平成 29 年度 第 4 回 大江町教育委員会 会議録

招集年月日	平成 29 年 8 月 18 日
招集の場所	大江町中央公民館 応接室兼講師控室
開会年月日	平成 29 年 9 月 1 日 (金)
出席委員	犬飼教育長、白田委員、鈴木委員
欠席委員	山家委員、阿部委員
会議に出席した者	清水教育文化課長、白田学校教育主幹兼指導主事
付議事件	議第 6 号 平成 29 年度大江町教育事務事業点検・評価報告書 (平成 28 年度分) について 議第 7 号 大江町教育費予算 (平成 29 年度一般会計補正予算 (第 2 号)) に対する意見の申出について
<u>1 開 会</u> 犬飼教育長	会議参集の謝辞を述べ、大江町教育委員会の開会を告げた。
<u>2 会議録署名委員の指名</u> 犬飼教育長	阿部さんが欠席ですので、白田委員にお願いします。
<u>3 報 告</u>	平成 29 年度全国学力・学習状況調査結果について 本町においては、小学校は全国平均より上回っている結果となったことなどを報告した。
<u>4 議 事</u> 清水課長	山家委員が欠席ですので、議長を教育長にお願いします。
犬飼教育長	日程第一、平成 29 年度大江町教育事務事業点検・評価報告書 (平成 28 年度分) について を議題とします。説明をお願いします。
清水課長	(議案書により説明)
犬飼教育長	事務事業点検評価は教育委員会だけ行っているのですか。
清水課長	教育委員会だけです。法律に定められているので毎年行っています。
犬飼教育長	教育委員制度改革から行っているのですか。
清水課長	平成 22 年度より行っています。事務事業点検評価が導入され、次に、教育委員会制度改革が行われています。
犬飼教育長	では、ご承認いただけますのでしょうか。
各委員	はい。

<p>犬飼教育長</p>	<p>次に日程第二、議第7号について を議題とします。説明をお願いします。</p>
<p>清水課長</p>	<p>日程第二、議第7号大江町教育費予算（平成29年度一般会計補正予算（第2号））に対する意見の申出について、9月定例議会上程案件ですので、秘密会とさせていただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。</p>
<p>各委員</p>	<p>はい。</p> <p>《 議第7号大江町教育費予算（平成29年度一般会計補正予算（第2号））に対する意見の申出については秘密会にて審議 》</p>
<p>犬飼教育長</p>	<p>議題は以上となりますので、議長を降りさせていただきます。</p>
<p>5 閉 会</p>	
<p>犬飼教育長</p>	<p>これで教育委員会を終了させていただきます。ご苦勞様でした。</p>
<p></p>	<p>会議終結宣言 午後4時55分</p>
<p></p>	<p>平成29年9月1日</p>
<p></p>	<p>教育長 犬飼 藤男</p>
<p></p>	<p>委員 白田 民子</p>

大江町教育委員会

平成 29 年 9 月 1 日 (金) 午後 4 時～
大江町中央公民館 応接室兼講師控室

1 開 会

2 会議録署名委員の指名

3 報 告

4 議 事

日程第一 議第 6 号 平成 29 年度大江町教育事務事業点検・評価報告書（平成 28 年度分）について

日程第一 議第 7 号 大江町教育費予算（平成 29 年度一般会計補正予算（第 2 号））に対する意見の申出について

5 閉 会

議第 6 号

平成 29 年度大江町教育事務事業点検・評価報告書(平成 28 年度分)について

平成 29 年度教育事務事業点検・評価報告書(平成 28 年度分)について、別紙報告書について承認する。

提案理由

大江町教育委員会教育長に対する事務委任規則第 1 条第 1 項第 17 号の規定により、提案するものである。

平成 29 年 9 月 1 日

大江町教育委員会
教育長 犬飼 藤 男

平成29年度

教育委員会事務事業点検・評価報告書
(平成28年度分)

大江町教育委員会

目次

I	大江町教育委員会事務事業の点検評価について・・・・・・・・・・	P1
	1. 制度の概要及び目的	
	2. 点検・評価の対象事業	
	3. 点検・評価の方法	
	4. 学識経験者の知見の活用	
II	教育委員会等の活動状況・・・・・・・・・・	P3
	1. 教育委員会の開催	
	2. 教育委員会協議会の開催	
	3. 会議以外の活動	
III	外部評価委員の意見・・・・・・・・・・	P6
IV	施策の体系（大江町教育振興計画）・・・・・・・・・・	P8
V	点検・評価調書一覧・・・・・・・・・・	P9
	【事務事業別点検・評価調書】	

I 大江町教育委員会事務事業の点検評価について

1 制度の概要及び目的

平成 19 年 6 月に「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」が一部改正（平成 20 年 4 月 1 日施行）され、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行状況について自ら点検・評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに、公表しなければならないこととされました。

また、この点検・評価を行なうにあたっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとされております。

この法律改正を受け、大江町教育委員会では、効果的、効率的で開かれた教育行政の推進に資するため、平成 22 年度より前年度の事務事業について、3 名の外部評価委員（大江町教育事務評価委員）の方々の意見をいただきながら点検・評価を実施しています。

大江町教育委員会では、平成 27 年 3 月に「共に学び合い 高め合い 生かし合う 心豊かな人づくり」を基本理念とした第 2 次大江町教育振興計画を策定し、「時代を生き抜く力を創る共生教育の推進」、「生きがいと活力を創る生涯学習の推進」、「うるおいと誇りを創る芸術文化と文化財保護の推進」、「健康と元気を創る生涯スポーツの推進」という 4 つの基本目標に掲げ、相互に連携しながら各種教育施策の推進に努めております。

今回は、平成 28 年度に行なった主要な事務事業について点検・評価を実施するものです。

【参考】

地方教育行政の組織及び運営に関する法律

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第 26 条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第 1 項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第 4 項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行ない、その結果に対する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行なうに当っては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

2. 点検・評価の対象事業

点検・評価は、平成 28 年度において教育委員会が所管し実施した主要な事業（23 事業）を対象として選定しました。

3. 点検・評価の方法

各事業について、「必要性」・「効率性」及び「有効性」の観点から分析評価したうえで、今後の方向性として、「拡充」・「継続」・「縮小」・「見直し」及び「休廃止」に区分し、点検・評価を行い「事務事業点検・評価調書」としてまとめ

ております。

4. 学識経験者の知見の活用

教育委員会が行なった点検・評価について、その客観性を確保するため、3名の学識経験者を外部評価委員（大江町教育事務評価委員）として委嘱し、点検・評価の内容についてご意見をいただくこととしています。

◇大江町教育事務評価委員

鈴木 豊、渋谷文昭、今野壽子

II 教育委員会の活動状況

1 教育委員会の開催

開催日	区分	議案番号	件名		
4月22日	定例	1	教育費予算（平成28年度一般会計補正予算（第1号））に対する意見の申出について		
		2	平成28年度要保護・準要保護児童生徒の認定について		
5月30日	定例	3	教育費予算（平成28年度一般会計補正予算（第2号））に対する意見の申出について		
		4	平成28年度要保護・準要保護児童生徒の認定について		
		5	大江町立図書館の設置について		
		6	大江町立図書館の管理運営規則の制定について		
		7	大江町立図書館館長の任命について		
		8	大江町立公民館等設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について		
		9	大江町立公民館等管理運営規則の一部を改正する規則の制定について		
		10	大江町立学校の設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定について		
		11	大江町立学校の設置等に関する条例施行規則の一部を改正する規則の制定について		
		12	大江町町民ふれあい会館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について		
		13	大江町町民ふれあい会館管理運営規則の一部を改正する規則の制定について		
		14	大江町立歴史民俗資料館設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について		
		15	大江町立歴史民俗資料館管理規則の一部を改正する規則の制定について		
		16	大江町社会体育施設の設置、管理及び使用に関する条例の一部を改正する条例の制定について		
		17	大江町社会体育施設の管理及び使用に関する規則の一部を改正する規則の制定について		
		18	大江町健康増進センター設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について		
		19	大江町健康増進センター管理運営規則の一部を改正する規則の制定について		
		20	教育委員の辞職について		
		6月30日	定例	21	事務代理の承認を求めることについて 財産の取得に対する意見の申出について

		22	教育委員の辞職について
8月1日	定例	23	大江町教育委員会教育長職務代理者の指定について
		24	平成29年度使用教科用図書の採択について
		25	大江町立図書館管理運営規則の一部を改正する規則の制定について
8月31日	定例	26	大江町教育事務事業評価委員の委嘱について
		27	平成28年度要保護・準要保護児童生徒の認定について
		28	教育費予算（平成28年度一般会計補正予算（第3号））に対する意見の申出について
9月30日	定例	29	平成28年度大江町教育事務事業点検・評価報告書（平成27年度分）について
		30	大江町自治公民館建設費並びに整備補助金交付規定の一部改正について
		31	大江町立図書館管理運営規則の一部を改正する規則の制定について
11月30日	定例	32	教育費予算（平成28年度一般会計補正予算（第4号））に対する意見の申出について
2月27日	定例	33	大江町小学校管理規則の一部を改正する規則の制定について
		34	大江町ふるさと奨学金貸与条例施行規則の一部を改正する規則の制定について
		35	平成28年度大江町教育委員会表彰について
		36	教育費予算（平成28年度一般会計補正予算（第6号））に対する意見の申出について
		37	教育費予算（平成29年度一般会計予算）に対する意見の申出について
3月7日	臨時	38	平成29年度大江町立小中学校教職員人事異動内申について
3月27日	定例	39	大江町小学校管理規則の一部を改正する規則の制定について
		40	平成29年度要保護・準要保護児童生徒の認定について
		41	平成29年度大江町教育委員会職員の人事異動について

2 教育委員会協議会の開催

開催回数 10月28日、12月27日、1月30日 3回

教育長報告及び今後の日程について

3 会議以外の活動

(1) 学校訪問

実施日	実施校	実施日	実施校
6月7日(火)	大江中学校	6月17日(金)	本郷東小学校
6月21日(火)	左沢小学校	6月24日(金)	藤田の丘分校

(2) 大江町総合教育会議の開催

日時 11月30日(水) 午後3時～

内容 ○全国学力・学習状況調査結果を踏まえた今後の取組みについて
○その他

(3) その他の主な活動

- 4月8日(金) 大江町小中学校入学式
- 5月17日(火) 大江町小中高PTA連絡協議会総会
- 18日(水) 大江町小学校陸上大会
- 27日(金) 山形県市町村教育委員会協議会総会(山形市)
- 6月4日(土) 左沢小学校相撲大会
- 5日(日) あじさい手づくり工芸まつり
- 7月6日(水) 大江町小学校水泳大会
- 12日(火) 西村山市町教育委員会連絡協議会総会・研修会(西川町)
- 18日(日) 大江町中央公民館・町立図書館開館
- 8月5日(金) 山形県市町村教育委員大会(米沢市)
- 14日(日) 大江町成人式
- 27日(土) 大江中学校躍動祭(運動会)
- 9月3日(土) 小学校運動会(左沢小学校、本郷東小学校)
- 10月6日(木) 山形県社会教育研究大会(尾花沢市)
- 9日(日) 大江町縦断駅伝競走大会
- 28日(金)～30日(日) 大江町文化祭
- 11月11日(金) 大江町小中高PTA連絡協議会秋の研修協議会
- 12月16日(金) 校長会・教頭会・教育委員会合同「教育懇談会」
- 3月16日(木) 大江中学校卒業式
- 18日(土) 町内小学校卒業式

Ⅲ 外部評価委員の意見

1 教育委員会活動全般について

- (1) 教育事務事業は全般的に良く運営されていると思います。
- (2) 少子高齢化の著しい時代を迎え、人間教育の重要性が必須となっています。大は小を兼ねるといいますが、小は大を兼ねられる時代に努めていきたいものです。どの時代も安全安心が基本となりますので、生涯教育を通し生命の大切さを共有しあい明るく生きたいと思いますので、教育委員会の指導をお願いします。
- (3) 各セクションに指導員・補助員が多数配置となっています。教育相談員・学習生活指導員・社会教育指導員・スポーツ推進委員など横の連携や情報の共有をするためにも、連絡会議など持たれてはどうでしょうか。

2 学校教育活動について

- (1) 多くの課題がある中で目標の実現を果たされ、子ども達もその努力・変化を喜んでいると思います。
- (2) 少子高齢社会の中で大人と小人が共に学び合っているという現状を理解できる場面等を多く生かされたらいいと思います。自然体験等で大人の知恵に感動することが多いと思います。汗を流す教育は人の絆を強くする気がしますので、そうした教育を大切にしてもらいたいです。
- (3) 教育相談員配置事業について、受付相談件数が573件と大変多く、制度がよく機能していると思われまます。担当の先生のご苦勞に感謝します。本町において、重篤な問題が発生していないのも、本制度が功を奏しているものと推察します。事務担当の方々も、是非その内容について注視して頂きたい。
- (4) 学校生活自立支援事業について、児童・生徒数の関係でクラスが少なくなり、先生への負担が増大しているものと考えられます。学習生活指導補助員の配置を充実していただき、教育の質を高めていただきたい。
- (5) 中学校の青学学習は評価します。今後も継続していただきたい。
- (6) 中学校の教員は必ずしも体育部活動に精通しているとは限りません。学校側と協議のうえ、コーチの斡旋等はできないのでしょうか。
- (7) スクールバスの運行事業の充実は大いに評価できます。

3 社会教育活動について

- (1) 生涯学習はよく運営されています。各団体の意向を汲み参加しやすい形での実施をお願いします。
- (2) 中央公民館と図書館が竣工し使用が開始されました。関係皆様のご努力に敬意を表します。ぜひ、多くの町民が利用し、有効に活用されることを望みます。
- (3) 公民館の利用料減免制度が新設になったことについて、大いに歓迎したいと思います。

4 歴史文化活動について

- (1) 町の歴史の宝の維持整備に感謝いたします。学校での授業、生涯学習講座等で繰り返して町の歴史を学ぶことにより、町の歴史が理解し知識となり、子どもも大人も町のことを知り、家族で話し合えるようになればいいと思います。また、そうなるよう期待します。
- (2) 左沢楯山城跡に関して、今後の整備事業の計画をお知らせしてもらいたいです。
- (3) 観光ボランティアの方の説明を聞きながら、町内を散策する機会がありましたが、新しい発見が数多く、長らく住み慣れた者にとっても楽しい散策でした。遠方からの旅行者にとっては魅力ある観光資源となっていると思います。物理的なものだけでなく、ガイドというソフトも観光資源であるとの位置付けで捉えられてはいかがでしょうか。

5 体育振興活動について

- (1) 体育行事は町民が一つになれる大切なものですので、これからも年齢を問わず誰もが参加できる楽しい企画を期待します。
- (2) 数々の町民体育事業のお陰で、町民がいい汗をかき親睦を深めることができました。せっかくの大会も参加者があってこそです。競技によっては、参加しない町内会、参加したくても出来ない町内会があります。是非、参加しやすくする工夫を凝らしていただいて、より多くの町民が参加できる大会としていただきたい。

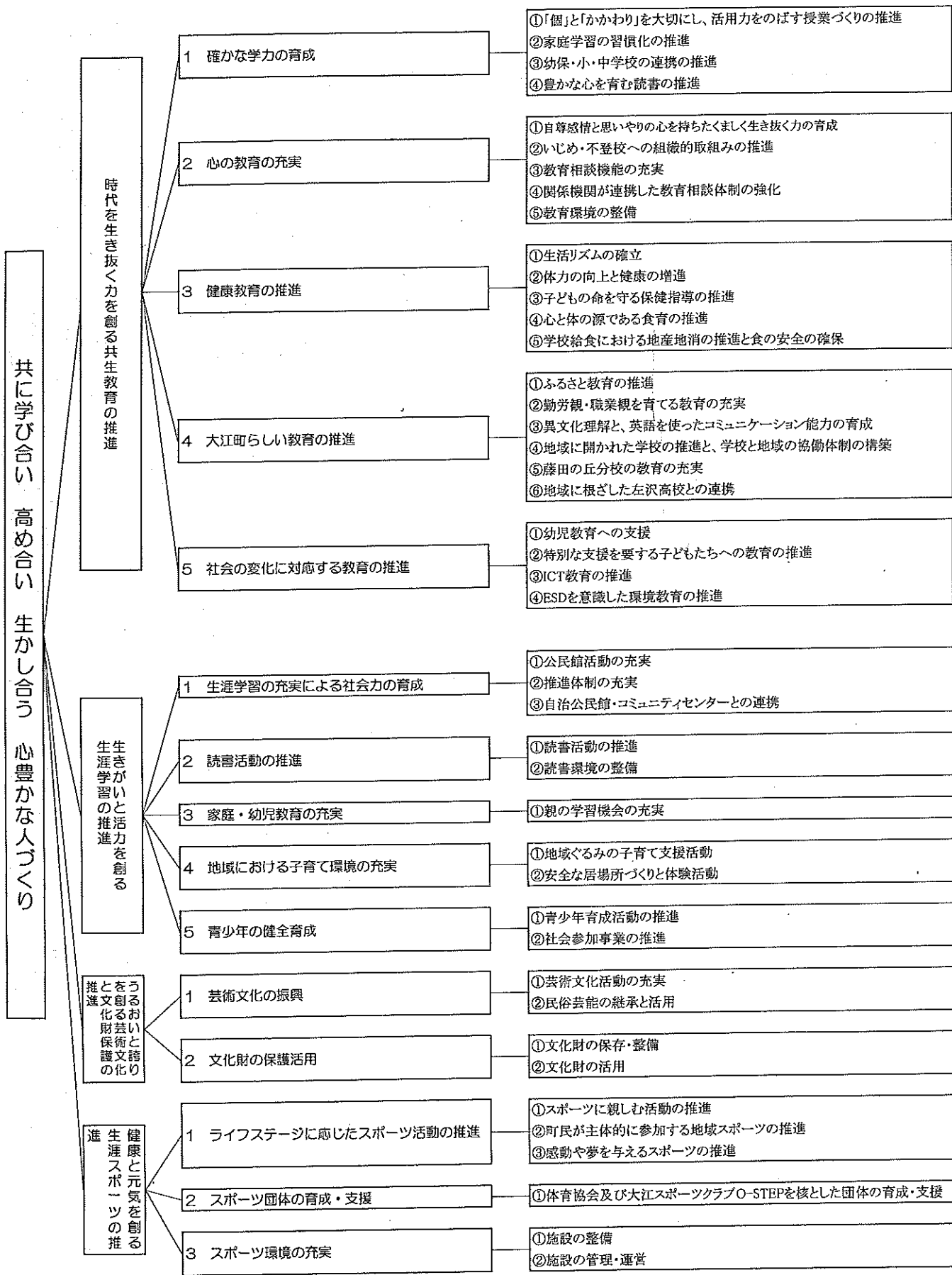
第2次 大江町教育振興計画 体系図

理念

基本目標

施策

項目



平成 28 年度大江町教育事務事業点検・評価調書一覧

区分	施策体系	事務事業名	担当係	頁
時代を生き抜く力を創る共生教育の推進	1-1-①	小中学校運営事業	学校教育係	10
	1-1-①	教育活動推進事業	同	11
	1-2-③	教育相談員配置事業	同	12
	1-2-⑤	小学校施設整備事業	同	13
	1-2-⑤	中学校施設整備事業	同	14
	1-2-⑤	スクールバス運行事業	同	15
	1-2-⑤	就学支援事業	同	16
	1-3-③	学校保健	同	17
	1-3-④・⑤	学校給食	同	18
	1-4-③	国際相互理解推進事業	同	19
	1-4-⑥	左沢高等学校支援事業	同	20
	1-5-①	幼稚園就園奨励事業	同	21
	1-5-②	学習生活自立支援事業	同	22
創る生きがいと活力を生きた生涯学習の推進	2-1-①	公民館管理運営事業	社会教育係	23
	2-1-①・②	生涯学習推進事業	同	24
	2-2-①	読書推進事業	同	25
	2-4-②	放課後子どもプラン推進事業	同	26
保る芸術文化と文化財の推進	3-1-①	芸術文化振興事業	歴史文化係	27
	3-3-①	文化財保護事業	同	28
	3-3-①	左沢楯山城跡保存整備事業	同	29
	3-3-②	文化的景観推進事業	同	30
創る健康と元気を生きたスポーツの推進	4-1-①・③	体育振興事業	体育振興係	31
	4-2-②	スポーツ団体育成事業	同	32

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	小中学校運営事業	所管課・係	教育文化課 学校教育係
施策体系	第1章 時代を生き抜く力を創る共生教育の推進 第1節 確かな学力の育成 ①「個」と「かかわり」を大切にし、活用力をのばす授業づくりの推進	予算科目	10 教育費 2・3 小学校費、中学校費 1・2 学校運営費・教育費振興費

2. 事業の概要

事業目的	自ら課題を見つけ、考え、解決するための力を身につけるために、共生教育の考えに基づいて学習を推進するために学習環境を維持する。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校運営に要する経常経費 ・ 教育に要する経費

3. 予算額・決算額

予算現額	118,531	決算額	114,171	(単位：千円 千円未満四捨五入)
(備考)				
主な支出項目				
学校の運営に係る経費 103,172円 (賃金、報酬、旅費、需用費、役務費、委託料、使用料、原材料、備品購入、負担金)				
教育振興に係る経費 10,999千円 (報償費、旅費、需用費、役務費、使用料、備品購入、負担金)				

4. 事業の実施状況

左沢小学校 生徒数240名 職員数29名 左沢小藤田の丘分校 生徒数0名 職員数2名 大江中学校 生徒数204名 職員数26名 小学校計 男子194名 女子164名 合計358名	本郷東小学校 生徒数118名 職員数17名 大江中藤田の丘分校 生徒数8名 職員数5名 中学校計 男子106名 女子106名 合計212名
--	---

5. 事業の評価

評価の視点(評価項目)	評価	評価の理由
必要性 社会情勢や町民ニーズの変化に対応しているか	<input type="checkbox"/> 適切に対応している <input checked="" type="checkbox"/> 概ね対応できている <input type="checkbox"/> ほとんど対応できていない	・ 安定した学校運営ができています。
効率性 経費に見合った効果が得られているか	<input type="checkbox"/> 十分に効果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 概ね効果が得られている <input type="checkbox"/> 効果があまり得られていない	・ 維持管理費が年々高くなっている傾向であるが、安定した学校の運営が維持されている。
有効性 期待された成果は得られたか	<input type="checkbox"/> 期待した成果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 概ね期待した成果が得られている <input type="checkbox"/> 期待した成果があまり得られていない	・ 限られた予算の範囲内で、各校独自の取組みも展開されており期待された成果は得られている。

6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	子どもたちに、社会を生き抜く基盤となる確かな学力と変化に対応し自立できる力を身につけるために、引き続き共生教育の理念のもと学習を推進していく。

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	教育活動推進事業	所管課・係	教育文化課 学校教育係
施策体系	第1章 時代を生き抜く力を創る共生教育の推進 第1節 確かな学力の育成 ①「個」と「かかわり」を大切に、活用力をのばす授業づくりの推進	予算科目	10 教育費 1 教育総務費 3 教育活動推進費

2. 事業の概要

事業目的	“共生教育”の充実を図るために、地域や家庭と連携した活動やかかわり合いながら高まる学習指導・交流学习等を推進する。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校教育センターを設置し、教職員の資質向上及び大江町全体の教育力向上にむけて講演会、研修会等を実施する。また、児童生徒の学力診断・知能検査を実施し、その分析を行う。 ・ 共生教育の研究や実践活動を支援する。

3. 予算額・決算額

予算現額	6,954	決算額	6,684	(単位：千円 千円未満四捨五入)
(備考)				
主な支出項目	* 知能検査、NRT検査等 1,116 * 芸術鑑賞教室 470 * 図書購入 4,374 * 共生教育推進等（主に学校教育センター関係） 724			

4. 事業の実施状況

「学校教育センターの運営」 ・ 学力向上推進 * 小2～中3 教研式NRTテスト実施 * 小2/4/6中2 知能検査実施 * 小3～中3 Q-Uアンケート実施 ・ 所員全体研修(2)、共生教育推進、各研修部会研修運営 ・ 芸術鑑賞教室開催(小中各1)、読書活動推進(図書購入)、中学校指導書購入
--

5. 事業の評価

評価の視点（評価項目）	評価	評価の理由
必要性 社会情勢や町民ニーズの変化に対応しているか	<input type="checkbox"/> 適切に対応している <input checked="" type="checkbox"/> 概ね対応できている <input type="checkbox"/> ほとんど対応できていない	・ 本町の児童生徒の学力を客観的に判断し対策を講じるために、また、よりよい人間関係をつくるために必要である。結果を生かして、共生教育の推進に努めている。
効率性 経費に見合った効果が得られているか	<input type="checkbox"/> 十分に効果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 概ね効果が得られている <input type="checkbox"/> 効果があまり得られていない	・ Q-Uアンケートを活用し、落ち着いた学校生活が送れるようになっている。また、学校教育センターで研修会を実施し、学力向上との関連を図っている。
有効性 期待された成果は得られたか	<input type="checkbox"/> 期待した成果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 概ね期待した成果が得られている <input type="checkbox"/> 期待した成果があまり得られていない	・ 中学3年生の読書時間は、県と全国平均を上回っている。各種研修を通して、教職員の資質能力の向上が図られている。

6. 今後の対応等

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	Q-Uアンケートは、いじめ防止の観点からより効果的に活用するために、継続して実施していく必要がある。特別支援教育に対する研修会の企画や、探究型学習の推進に関する研修の場を企画していきたい。他にも、効率的な芸術鑑賞の機会を確保し、児童生徒の情操面での成長も図っていく。また重要文化的景観の選定をうけ、より“ふるさと教育”を充実させるための取組みを実施していく。

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	教育相談員配置事業	所管課・係	教育文化課 学校教育係
施策体系 [教育振興計画]	第1章 時代を生き抜く力を創る共生教育の推進 第2節 心の教育の充実 ③教育相談機能の充実	予算科目	10 教育費 1 教育総務費 2 教育相談費

2. 事業の概要

事業目的	心に悩みを抱える子どもを支援するため、電話による教育相談体制を整え、子どもや保護者の悩みに対応できる体制を構築する。
事業内容	・ 教育相談員を配置し、各種相談への対応を行う。

3. 予算額・決算額

予算現額	403	決算額	343	(単位：千円 千円未満四捨五入)
(備考)				
主な支出項目	* 教育相談員配置		343 (報償240、電話代103)	

4. 事業の実施状況

・ 電話等による教育相談員の配置 * 受付相談件数 のべ 573件
--

5. 事業の評価

評価の視点 (評価項目)	評価	評価の理由
必要性 社会情勢や町民ニーズの変化に対応しているか	<input type="checkbox"/> 適切に対応している <input checked="" type="checkbox"/> 概ね対応できている <input type="checkbox"/> ほとんど対応できていない	・ 児童生徒や保護者が多様化している中、学校だけでは解決できない課題に対して、個に寄り添って相談に対応するために必要な人的配置となっている。
効率性 経費に見合った効果が得られているか	<input type="checkbox"/> 十分に効果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 概ね効果が得られている <input type="checkbox"/> 効果があまり得られていない	・ 教育相談を行ったことにより、課題解決の方向に向かった事例がある。一方、教育相談員にかけている負担を考えた時、この金額が妥当かどうか課題である。
有効性 期待された成果は得られたか	<input type="checkbox"/> 期待した成果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 概ね期待した成果が得られている <input type="checkbox"/> 期待した成果があまり得られていない	・ 教育相談員の相談が、中学校の教員にとって有効性を感じるものになっている。これまでの経験を十分に生かして、教育相談にあたっていただいている。

6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	・ 中学生から高校生、そして、保護者までとさまざまな方々の教育相談にあっている。今後も心に悩みを抱える子どもを支援するため、教育相談体制を整え、子どもや保護者の悩みに対応できるようにしていく。

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	小学校施設整備事業	所管課・係	教育文化課 学校教育係
施策体系 [教育振興計画]	第1章 時代を生き抜く力を創る共生教育の推進 第2節 心の教育の充実 ⑤教育環境の整備	予算科目	10 教育費 2 小学校費 1 学校管理費

2. 事業の概要

事業目的	計画的な施設、設備及び教材備品の整備により、児童の安心安全な教育環境の充実を図る
事業内容	○小学校施設・設備の整備及び営繕並びに維持管理をおこなう ○施設用備品及び暖房器具等を順次更新していきながら教育環境の充実を図る

3. 予算額・決算額

予算現額	41,307	決算額	41,280	(単位：千円 千円未満四捨五入)
(備考)				
※主な支出項目				
○本郷東小学校エアコン設置工事関係 15,876千円		○左沢小学校屋上防水工事関係 21,600千円		
○本郷東小学校ガス回転釜設置工事 794千円		○その他諸工事 827千円		
○消防設備等修繕等 1,585千円				
○施設用備品 598千円				

4. 事業の実施状況

○校舎各種工事等：左沢小（屋上防水工事、網戸設置工事、グラウンドフェンス改修工事、床張替工事、カーテン設置工事 本東小（エアコン設置、ガス回転釜設置工事、給水給湯工事）

5. 事業の評価

評価の視点（評価項目）	評価	評価の理由
必要性 社会情勢や町民ニーズの 変化に対応しているか	<input type="checkbox"/> 適切に対応している <input checked="" type="checkbox"/> 概ね対応できている <input type="checkbox"/> ほとんど対応できていない	修繕・工事については計画的または状況の度合いによって実施している。また教材備品等を順次整備、更新することで教育環境の充実を図ることができた。
効率性 経費に見合った効果が得 られているか	<input checked="" type="checkbox"/> 十分に効果が得られている <input type="checkbox"/> 概ね効果が得られている <input type="checkbox"/> 効果があまり得られていない	計画的な工事・修繕により、より安心・安全な教育環境の充実と、教材備品の整備により、学習習慣の確立や学習意欲の向上を図ることができた。また、補助事業の活用により支出を抑制することができた。
有効性 期待された成果は得られ たか	<input type="checkbox"/> 期待した成果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 概ね期待した成果が得られている <input type="checkbox"/> 期待した成果があまり得られていない	計画的な工事等により児童の教育環境の充実向上と、教材等備品の整備により基本的・基礎的な知識・技能の向上のために役立てることができた。

6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	○学校は児童の学習・生活の場であるとともに、非常災害時には地域住民の緊急避難場所となっていることから、老朽化して不具合が生じる箇所については、今後も計画的に修繕・工事を実施していく。 ○施設用備品についても引き続き計画的な整備を行っていく。

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	中学校施設整備事業	所管課・係	教育文化課 学校教育係
施策体系 [教育振興計画]	第1章 時代を生き抜く力を創る共生教育の推進 第2節 心の教育の充実 ⑤教育環境の整備	予算科目	10 教育費 3 中学校費 1 学校管理費

2. 事業の概要

事業目的	計画的な施設、設備及び教材備品の整備により、生徒の安全・安心な教育環境の充実を図る。
事業内容	○中学校施設・設備の整備及び営繕並びに維持管理をおこなう ○施設用備品を順次更新していきながら教育環境の充実を図る

3. 予算額・決算額

予算現額	4,038	決算額	3,923	(単位：千円 千円未満四捨五入)
(備考)				
※主な支出項目				
○浄化槽修繕工事 645千円 ○特別教室西側屋上防水工事 918千円 ○非常用発電設置工事 846千円 ○消防施設修繕 408千円 ○施設用備品 976千円				

4. 事業の実施状況

○工事関係：浄化槽修繕、特別教室西側屋上防水工事、非常用発電設置工事、PテレホンCII設置工事
○施設用備品：スクリーンボード付電子黒板機能付きプロジェクター、ガスコンロ等の購入

5. 事業の評価

評価の視点(評価項目)	評価	評価の理由
必要性 社会情勢や町民ニーズの変化に対応しているか	<input type="checkbox"/> 適切に対応している <input checked="" type="checkbox"/> 概ね対応できている <input type="checkbox"/> ほとんど対応できていない	武道館の耐震補強工事が終了し、学校施設については100%の耐震化となり教育環境の安全性を果たした。またその他の修繕・工事等は計画に基づき実施している。
効率性 経費に見合った効果が得られているか	<input type="checkbox"/> 十分に効果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 概ね効果が得られている <input type="checkbox"/> 効果があまり得られていない	施設・設備の不具合箇所等については、計画に基づき実施し、より安心・安全な教育環境の充実を図ることができた。
有効性 期待された成果は得られたか	<input type="checkbox"/> 期待した成果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 概ね期待した成果が得られている <input type="checkbox"/> 期待した成果があまり得られていない	生徒の教育環境が向上し、安全な学習・生活の場が確保された。

6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	○学校は生徒の学習・生活の場であるとともに、非常災害時には地域住民の緊急避難場所となっていることから、不具合が生じる箇所については、今後とも計画的に修繕・工事を実施していく。 ○施設用備品についても引き続き計画的な整備を行っていく。

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	スクールバス運行事業	所管課・係	教育文化課 学校教育係
施策体系 [教育振興計画]	共に学び合い高め合い生かし合う心豊かな人づくり 第1章 時代を生き抜く力を創る共生教育の推進 第2節 心の教育の充実	予算科目	10 教育費 2・3 小・中学校費 1 学校管理費

2. 事業の概要

事業目的	遠距離通学となる児童生徒等の通学に係る負担軽減と安全確保を実現する。
事業内容	左沢小1台（用方面）、本郷東小1台（柳川方面）、大江中2台（用方面・柳川方面） 児童生徒の登下校及び校外授業等での送迎

3. 予算額・決算額

予算現額	18,970	決算額	17,219	（単位：千円 千円未満四捨五入）
(備考) 運転手賃金6,262千円 燃料費1,165千円 修繕料1,800千円 車検時役務費60千円 消耗品費320千円 自動車借上料13千円 公課費75千円 光熱水費29千円 バス購入費7,495千円				

4. 事業の実施状況

児童生徒の利用者数（延べ人数）					
柳川線	本郷東小	夏季：10名	冬季：20名	大江中	夏季：12名 冬季：15名
用線	左沢小	夏季：25名	冬季：25名	大江中	夏季：2名 冬季：19名

5. 事業の評価

評価の視点（評価項目）	評価	評価の理由
必要性 社会情勢や町民ニーズの変化に対応しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適切に対応している <input type="checkbox"/> 概ね対応できている <input type="checkbox"/> ほとんど対応できていない	28年度より路線バスを切り離し、スクールバス専用として運行を開始し、各校専用バスを配置したことにより柔軟な登下校が可能になった。
効率性 経費に見合った効果が得られているか	<input type="checkbox"/> 十分に効果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 概ね効果が得られている <input type="checkbox"/> 効果があまり得られていない	バスの購入で小学校1台、中学校2台配置したことによる経費分は負担が増えたが、校外活動の利便性が高まった。
有効性 期待された成果は得られたか	<input type="checkbox"/> 期待した成果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 概ね期待した成果が得られている <input type="checkbox"/> 期待した成果があまり得られていない	路線バスの切り離しにより、各校でバスの予定が組めるよなり、管理事務に負担軽減が図られた。

6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 見直し	<input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	路線バスの切り離しにより本来の児童生徒の送迎専用になったことによる見直しの効果があったため、今後も継続していく。今後は、バスの部活動送迎の対応について取り組む予定。				

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	就学支援事業	所管課・係	教育文化課 学校教育係
施策体系 [教育振興計画]	第1章 時代を生き抜く力を創る共生教育の推進 第2節 心の教育の充実 ⑤教育環境の整備	予算科目	10 教育費 2,3 小学校費, 中学校費 2 事務局費

2. 事業の概要

事業目的	経済的理由により就学困難な児童生徒の就学機会確保と、特別な支援を要する児童生徒の教育の振興。
事業内容	要保護・準要保護及び特別支援学級在籍の児童生徒の保護者に対し、学用品や校外活動、給食費等に係る費用を支給し援助する。

3. 予算額・決算額

予算現額	5,046	決算額	4,875	(単位：千円 千円未満四捨五入)
(備考)				
要保護・準要保護児童生徒就学援助費 小学校1,791千円 中学校2,879千円 計4,670千円				
特別支援就学奨励費補助金 小学校111千円 中学校94千円 計205千円				

4. 事業の実施状況

要保護・準要保護児童生徒就学援助費の支給	対象児童生徒数	小学校24名	中学校29名	計53名
特別支援教育就学奨励費の支給	対象児童生徒数	小学校 3名	中学校2名	計5名

5. 事業の評価

評価の視点 (評価項目)	評価	評価の理由
必要性 社会情勢や町民ニーズの変化に対応しているか	<input type="checkbox"/> 適切に対応している <input checked="" type="checkbox"/> 概ね対応できている <input type="checkbox"/> ほとんど対応できていない	経済状況の低迷により就学に支援を要する保護者が多く、必要性が増している。
効率性 経費に見合った効果が得られているか	<input type="checkbox"/> 十分に効果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 概ね効果が得られている <input type="checkbox"/> 効果があまり得られていない	経済的困難を理由に就学の機会が妨げられた児童生徒がいないのは本事業の成果である。
有効性 期待された成果は得られたか	<input type="checkbox"/> 期待した成果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 概ね期待した成果が得られている <input type="checkbox"/> 期待した成果があまり得られていない	支給額についてはほとんどの項目で7~9割の補助となっており妥当であると思われる。

6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	1人親世帯が増えている傾向があり急に経済的困難な世帯になるケースがある。学校や健康福祉課との連携により迅速に認定し、就学困難な児童生徒を支援していく。

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	学校保健	所管課・係	教育文化課 学校教育係
施策体系 [教育振興計画]	共に学び合い高め合い生かし合う心豊かな人づくり 第1章 時代を生き抜く力を創る共生教育の推進 第3節 健康教育の推進	予算科目	10 教育費 1、2、3 教育総務、小学校、中学校 1、2 事務局費、学校管理費

2. 事業の概要

事業目的	児童生徒・就学予定者及び教職員の健康管理・健康保持増進を図り、もって学校生活教育の充実を図る
事業内容	児童生徒及び教職員に各種検診等を実施し、健康状態を把握のうえ事後指導を行うとともに、感染症の予防に努める。また、学校生活を始めるまえに予め、就学前児童に対し健康診断を実施し心身の状況を把握する。

3. 予算額・決算額

予算現額	1,638	決算額	1,315	(単位：千円 千円未満四捨五入)
(備考)				
児童生徒諸検診委託料 492千円 教職員健康診断委託料 669千円 就学時健診診察報償 154千円				

4. 事業の実施状況

1. 児童生徒分 (対象学年、実施者数)	
①内科・歯科・眼科検診 (全学年対象 540人) ②耳鼻科検診 (小学2・4・6年及び中学2年生対象 232人)	
③心電図検査 (小学1年生及び中学1年生と要観察者 122人) ④蟻虫卵検査 (小学1～3年生 169人)	
⑤尿検査 (全学年2次検査含 618人) ⑥貧血検査 (小学6年生及び中学全学年 252人) ⑦結核検診精密検査 (0人)	
2. 教職員分 (実施者数)	
①総合健診 (57人) ②胃がん検診 (57人) ③大腸がん検診 (57人) ④ストレスチェック (57人)	
3. 就学時健診 (実施者数 53人)	
視力検査・聴力検査・ことば・耳鼻科検査・眼科検査・内科検査・歯科検診 ほか	

5. 事業の評価

評価の視点 (評価項目)	評価	評価の理由
必要性 社会情勢や町民ニーズの変化に対応しているか	<input type="checkbox"/> 適切に対応している <input checked="" type="checkbox"/> 概ね対応できている <input type="checkbox"/> ほとんど対応できていない	法定の諸検査・検診を行い、疾患の早期発見に努めることはもちろんのこと、児童生徒及び教職員が充実した学校生活を送れるよう、保健・衛生・安全面での取り組みが必要。
効率性 経費に見合った効果が得られているか	<input type="checkbox"/> 十分に効果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 概ね効果が得られている <input type="checkbox"/> 効果があまり得られていない	齲歯予防の取り組みでは、毎年度表彰を受賞し、DMFT指数(1人当たりむし歯数)にも効果が見える。
有効性 期待された成果は得られたか	<input type="checkbox"/> 期待した成果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 概ね期待した成果が得られている <input type="checkbox"/> 期待した成果があまり得られていない	歯磨きや手洗いうがいといった日々の指導により、概ね健康的に児童生徒が学校生活を営んでいる。教職員のヘルスケアに関する取り組みが、業務多忙により取り組み自体が低調。

6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	28年度より新たに教職員のメンタルケアチェックを実施している。児童生徒及び教職員の健康管理と就学予定者の健康状況の把握のため、引き続き事業を実施する必要がある。また、インフルエンザの流行時期の変化等、新たに対応が必要となっていることについても、柔軟に取り組んでいきたい。

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	学校給食	所管課・係	教育文化課 学校教育係
施策体系 [教育振興計画]	共に学び合い高め合い生かし合う心豊かな人づくり 第1章 時代を生き抜く力を創る共生教育の推進 第3節 健康教育の推進	予算科目	10 教育費 1 教育総務費 2、3 小学校費、中学校費 3 教育活動推進費 1 学校管理費

2. 事業の概要

事業目的	児童生徒の心身の健全な発達に資すると共に、食に関する正しい理解と適切な判断力を養うために学校給食を実施する。また学校給食を通して食への関心を高め感謝の気持ちを育み、食育を推進していく。
事業内容	○小学校2校：自校調理方式による完全給食の実施 ○中学校：民間委託による副食給食の実施 ○地産地消及び食育の推進

3. 予算額・決算額

予算現額	18,640	決算額	17,720	(単位：千円 千円未満四捨五入)
(備考) 給食関係委託(小・中)621千円 副食給食委託(中)11,020千円 備品購入369千円 補助金1,764千円 臨時調理師賃金(小)1,398千円 燃料費955千円 工事費(東)814千円 給食関係消耗品等779千円				

4. 事業の実施状況

1) 小学校：自校調理方式による完全給食(2校平均給食実施回数：195回)	○栄養バランスのとれた食事を提供するとともに、栄養教諭や給食主任等が食と健康の保持・増進などの指導を行い栄養・食に関する正しい知識の普及に努めた。更には、食への関心の喚起、食事の重要性や食べ物を大切にする気持ちの育成、食物の生産・調理等に関わる人々へ感謝する心の醸成、栄養・食事の摂り方の理解を深め自ら管理する力を身に付けさせる、伝統文化への理解を深めることなど、食育を推進。 ○地産地消への取り組み ○ふるさと給食の実施(年11回) ○がんばろうみんなで献立(年10回) ○献立作成会議(7回)、調理師研修会、給食主任会(2回)、給食運営委員会(2回)
2) 中学校：民間委託による副食給食の実施(給食実施回数：180回)	○町栄養士が中心となって立てた栄養バランスのとれた献立に基づき、安全で安心な給食を提供。 ○小学校と連携した献立の実施

5. 事業の評価

評価の視点(評価項目)		評価	評価の理由
必要性	社会情勢や町民ニーズの変化に対応しているか	<input type="checkbox"/> 適切に対応している <input checked="" type="checkbox"/> 概ね対応できている <input type="checkbox"/> ほとんど対応できていない	給食だよりの発行、校内放送による食材の産地(生産者)紹介など食育の喚起に努めるとともに、食育推進に向けた取り組みを展開した。また、小中連携した献立の作成にも取り組んだ。
効率性	経費に見合った効果が得られているか	<input type="checkbox"/> 十分に効果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 概ね効果が得られている <input type="checkbox"/> 効果があまり得られていない	学校給食法における学校給食の目標に則り、栄養バランス・伝統的な食文化への理解・食育等の面で食材補助を活用するなど適切な給食の実施ができた。
有効性	期待された成果は得られたか	<input type="checkbox"/> 期待した成果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 概ね期待した成果が得られている <input type="checkbox"/> 期待した成果があまり得られていない	地場産を使用したふるさと給食の実施など、食育の充実をはじめ、地元生産者の顔が見える安全で安心な給食が実現と地産地消が推進できた。

6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	小学校の完全給食、中学校の副食給食、またふるさと給食・がんばろうみんなで献立の実施や地産地消への取り組みは今後も継続し、小・中が連携した食育の実践も引き続き取り組んでいく。また、安全安心な食の提供のため、食材の残留農薬検査や放射能検査についても継続して実施していく。

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	国際相互理解推進事業	所管課・係	教育文化課 学校教育係
施策体系 [教育振興計画]	共に学び合い高め合い生かし合う心豊かな人づくり 第1章 時代を生き抜く力を創る共生教育の推進 第4節 大江町らしい教育の推進	予算科目	10 教育費 1 教育総務費 3 教育活動推進費

2. 事業の概要

事業目的	ALT（外国語指導助手）の活動を中心に、より実践的な英語や外国文化に触れる機会を確保することにより英語教育の充実を図り、ふるさとに誇りを持ちながら国際社会に対応できるコミュニケーション能力を育成する。
事業内容	①外国語指導助手（ALT）配置事業 ②中学生海外派遣事業 ③外国人招致事業

3. 予算額・決算額

予算現額	9,910	決算額	9,606	（単位：千円 千円未満四捨五入）
（備考）外国語指導助手（ALT）配置事業3,088千円 国際理解教育推進員賃金 891千円 中学生海外派遣事業5,443千円 講師謝礼等100千円 その他国際理解教育事39千円 報告書製本代45千円				

4. 事業の実施状況

①外国語指導助手（ALT）配置事業	・ ・ ・ 大江中：月、火、水・木の午前 左沢小：金 本郷東小：木の午後 ・ ALTの学校での活動は、中学校では英語教諭の助手、小学校では5・6年生を対象に文部科学省発行テキストHi!friends!を使用して異文化教育と英語学習を行った。
②中学生海外派遣事業	・ ・ ・ 米国モンタナ州へ派遣。中学生11名。現地学生と交流。期間：7/27～8/2 ・ 3人の推進員とその他6名のサポーター登録者で、中学生海外派遣事業の事前事後研修を実施。
③外国人招致事業	・ 中学生向け講座『Global After-School』全3回。参加生徒のべ12名。部活のない放課後の時間に開催した。

評価の視点（評価項目）	評価	評価の理由
必要性 社会情勢や町民ニーズの変化に対応しているか	<input type="checkbox"/> 適切に対応している <input checked="" type="checkbox"/> 概ね対応できている <input type="checkbox"/> ほとんど対応できていない	進みゆく国際化の中で、住民や保護者の間では、異文化理解教育・英語教育の充実について関心が高まっていることから、事業の実施に関して関心は高い。
効率性 経費に見合った効果が得られているか	<input type="checkbox"/> 十分に効果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 概ね効果が得られている <input type="checkbox"/> 効果があまり得られていない	事業への参加対象者である児童生徒が参加しやすい日程になるよう努めているが、学校との調整や部活動との関係などから参加者が少ない。今後は事業の精査・工夫が必要。
有効性 期待された成果は得られたか	<input type="checkbox"/> 期待した成果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 概ね期待した成果が得られている <input type="checkbox"/> 期待した成果があまり得られていない	大江中学校の英語弁論大会で2年連続で入賞者を出すなど、ALTが学校生活に密着していることは効果が高い。また、各種事業へ参加後の児童生徒の感想は、引き続き実施してほしいという声が多かった。

6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	中学生海外派遣事業については、モンタナに3年間派遣したことから、参加しやすいように行先をグアムに、また、日程を春休みに変更し実施する予定。また、英検3級受験料を町で負担し、英語力の向上に努めていきたい。

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	左沢高校支援事業	所管課・係	教育文化課 学校教育係
施策体系 [教育振興計画]	第1章 時代を生き抜く力を創る共生教育の推進 第4節 大江町らしい教育の推進 ⑥地域に根ざした左沢高校との連携	予算科目	10 教育費 1 教育総務費 2 事務局費

2. 事業の概要

事業目的	山形県立左沢高等学校の教育機能の充実に向けた各種支援事業
事業内容	JR左沢線を利用して通学する生徒に対し定期券購入の半額を助成し、左沢高校の活性化とJR利用促進を図る。 左沢高校を支援する会への助成。

3. 予算額・決算額

予算現額	1,600	決算額	1,001	(単位：千円 千円未満四捨五入)
(備考) 左沢高校支援補助金 54名 901千円 左沢高校を支援する会負担金 100千円				

4. 事業の実施状況

○定期券の半額助成事業	1学年25名 (341,750円)、2学年15名 (281,000円)、3学年14名 (278,310円) 合計54名 (901,060円)
-------------	--

5. 事業の評価

評価の視点 (評価項目)	評価	評価の理由
必要性 社会情勢や町民ニーズの変化に対応しているか	<input type="checkbox"/> 適切に対応している <input checked="" type="checkbox"/> 概ね対応できている <input type="checkbox"/> ほとんど対応できていない	定期券の半額助成については、高校へ通学を要する家庭の負担軽減が図られる。負担金は、会員から集められた資金により学校活動に有効に利用している。
効率性 経費に見合った効果が得られているか	<input type="checkbox"/> 十分に効果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 概ね効果が得られている <input type="checkbox"/> 効果があまり得られていない	定期券の半額助成については、平成27年度から始めた事業のため、今後の効果を期待したい。負担金は、例年行っており、一定の効果が得られている。
有効性 期待された成果は得られたか	<input type="checkbox"/> 期待した成果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 概ね期待した成果が得られている <input type="checkbox"/> 期待した成果があまり得られていない	JRの利用促進と通学者への支援となっており、一定の成果につながっているものとおもう。

6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	左沢高校の教育機能の充実に向け、関係機関と連携しながら支援事業を推進していく。左沢高校が魅力ある学校となるよう左沢高校の活動を支援していく。

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	幼稚園就園奨励補助事業	所管課・係	教育文化課 学校教育係
施策体系 [教育振興計画]	第1章 時代を生き抜く力を創る共生教育の推進 第5節 社会の変化に対応する教育の推進 ①幼児教育の推進	予算科目	10 教育費 1 教育総務費 2 事務局費

2. 事業の概要

事業目的	保護者の経済的負担を軽減し、もって幼稚園教育の振興を図る。
事業内容	幼稚園就園奨励補助事業…保護者の経済的負担を軽減するため保育料等の一部を私立幼稚園が減免し、町が所得状況に応じ補助(限度額41,400~205,300円。所得制限有)。子育て支援事業…同時在園児2人目3/5,3人目以降全額補助。通園バス補助事業…町内通園保護者に通園バス利用料全額補助。

3. 予算額・決算額

予算現額	7,491	決算額	6,877	(単位:千円 千円未満四捨五入)
(備考) 決算額				
幼稚園就園奨励費補助金	5,293千円			
子育て支援事業補助金	231千円			
私立幼稚園通園バス補助金	1,354千円			

4. 事業の実施状況

幼稚園就園奨励費補助金(該当者 園児61名、55世帯)
子育て支援事業補助金(該当者 園児6名、6世帯)
私立幼稚園通園バス補助金(該当者 園児50名、47世帯)

5. 事業の評価

評価の視点(評価項目)	評価	評価の理由
必要性 社会情勢や町民ニーズの変化に対応しているか	<input type="checkbox"/> 適切に対応している <input checked="" type="checkbox"/> 概ね対応できている <input type="checkbox"/> ほとんど対応できていない	幼児教育の重要性が高まっている中、幼稚園教育の振興を図ることを目的としている本事業は必要性が高いと認識している。
効率性 経費に見合った効果が得られているか	<input type="checkbox"/> 十分に効果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 概ね効果が得られている <input type="checkbox"/> 効果があまり得られていない	3事業全ての該当者はかなり経済的負担軽減となっている。
有効性 期待された成果は得られたか	<input type="checkbox"/> 期待した成果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 概ね期待した成果が得られている <input type="checkbox"/> 期待した成果があまり得られていない	町内在住で私立幼稚園に就園している園児数63名のうち3事業のいずれかに該当している園児は45名(71.4%)となっており、子育て環境の充実に寄与している。

6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	経済的に不安定な状況に加え、少子化が続く中で、より子育てしやすい環境を整備する一環として、幼稚園就園児童をもつ保護者への経済的支援は引き続き行っていく。

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	学習生活自立支援事業	所管課・係	教育文化課 学校教育係
施策体系 [教育振興計画]	第1章 時代を生き抜く力を創る共生教育の推進 第5節 社会の変化に対応する教育の推進 ②特別な支援を要する子どもたちへの教育の推進	予算科目	10 教育費 1 教育総務費 3 教育活動推進費

2. 事業の概要

事業目的	特別な支援を要する児童生徒への対応や悩みを抱える子どもの自立支援に向けた個別支援の充実を図る。
事業内容	・ 障がいや個別に支援が必要な児童生徒に対して個に応じたきめ細やかな指導を行うため、学習生活指導補助員を配置する。

3. 予算額・決算額

予算現額	7,702	決算額	7,482	(単位：千円 千円未満四捨五入)
(備考)				
主な支出項目	* 学習生活指導補助員賃金		7,482	

4. 事業の実施状況

・ 学習生活指導補助員の配置	* 配置校3校 * 配置人数6名 * 勤務日数 のべ1,126日 (左沢小2名、本郷東小1名、大江中3名)
----------------	--

5. 事業の評価

評価の視点(評価項目)	評価	評価の理由
必要性 社会情勢や町民ニーズの変化に対応しているか	<input type="checkbox"/> 適切に対応している <input checked="" type="checkbox"/> 概ね対応できている <input type="checkbox"/> ほとんど対応できていない	・ 児童生徒が多様化している中、教室の中で個に応じた支援を行うために必要な人的配置となっている。また、左沢小学校では、1学級の人数が多いクラスが出てきており、充実した指導のためにも必要である。
効率性 経費に見合った効果が得られているか	<input type="checkbox"/> 十分に効果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 概ね効果が得られている <input type="checkbox"/> 効果があまり得られていない	・ 支援員とのTT指導によって、個性に応じた指導がなされているとともに、個々の学習の保障に結びついている。また、継続した雇用により、支援員も個の特性を理解して指導にあたっている。
有効性 期待された成果は得られたか	<input type="checkbox"/> 期待した成果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 概ね期待した成果が得られている <input type="checkbox"/> 期待した成果があまり得られていない	・ 支援員の配置により、児童生徒が安心して学習活動に取り組める環境をつくることができている。また、個に応じた指導により下位層の引き上げに成果が現れている。

6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	・ 個に応じた指導を実践するためには、県の加配と連携しながら対応する必要がある。インクルーシブ教育の考え方が進んでおり、支援を要する児童生徒が地元の学校に通うことが増えたり、通常学級内で支援を要する児童生徒が増えたりすることが予想され、子ども達の状況に応じた学習支援を充実させる必要がある。また、関係機関と早期から連携し、適切な指導の在り方をつなぐためのフェイスシートを効果的に活用していくなど、行政としてできる支援策を行っていく。

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	公民館管理運営事業	所管課・係	教育文化課 社会教育係
施策体系	第2章 生きがいと活力を創る生涯学習の推進 第1節 生涯学習の充実による社会力の育成 1 公民館活動の充実 2 推進体制の充実	予算科目	10 教育費 4 社会教育費 2 公民館費
教育振興計画			

2. 事業の概要

事業目的	生涯学習推進の拠点としての役割が果たせるよう、中央公民館と町民ふれあい会館、克雷管理センターの管理運営を行う。
事業内容	効率的かつ適正な公民館の管理運営と、利用者ニーズに対応した施設や学習機材等の整備による利用促進を図る。新たな生涯学習の拠点施設としての中央公民館に改築した。

3. 予算額・決算額

予算現額	359,526	決算額	357,355	(単位：千円 千円未満四捨五入)
<p>[中央公民館 334,198千円] 夜間及び休日の管理人配置 1,992千円、光熱水費外需用費 3,023千円、清掃委託料 1,042千円、監理業務委託料 12,420千円、施設整備費等工事費 263,113千円 施設用備品購入費 48,939千円 外</p> <p>[町民ふれあい会館 17,549千円] 社会教育指導員の配置 2,928千円、夜間及び休日の管理人配置 2,556千円、光熱水費外需用費 4,776千円、清掃外委託料 3,523千円、スロープ手すり設置工事及び舗装修繕工事費 1,129千円 外</p> <p>[克雷管理センター 5,609千円] 光熱水費外需用費 154千円、管理等委託料 242千円、屋根改修工事費 5,130千円 外</p>				

4. 事業の実施状況

社会教育指導員の配置、夜間及び休日の管理人配置、清掃外業務委託、中央公民館備品購入業務、中央公民館改築工事、中央公民館改築工事監理業務委託、町民ふれあい会館スロープ手すり設置工事及び舗装修繕工事費、克雷管理センター屋根改修工事 外

5. 事業の評価

評価の視点(評価項目)	評価	評価の理由
必要性 社会情勢や町民ニーズの変化に対応しているか	<input type="checkbox"/> 適切に対応している <input checked="" type="checkbox"/> 概ね対応できている <input type="checkbox"/> ほとんど対応できていない	住民の多様な生涯学習活動の場として利用されている。 社会情勢の変化に対応する中央公民館の改築を行った。
効率性 経費に見合った効果が得られているか	<input type="checkbox"/> 十分に効果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 概ね効果が得られている <input type="checkbox"/> 効果があまり得られていない	効率的かつ適正な公民館の管理運営に努めるほか、施設設備の維持修繕及び更新は、優先度の高いものから実施している。
有効性 期待された成果は得られたか	<input type="checkbox"/> 期待した成果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 概ね期待した成果が得られている <input type="checkbox"/> 期待した成果があまり得られていない	生涯学習推進の拠点としての役割が果たされている。

6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	特に町民ふれあい会館で、経年による施設設備の維持修繕及び更新には多額の経費が必要となっている。 今後も、利用者の安全と利便性を基本に計画的な維持修繕及び更新、管理運営に努めていく。

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	生涯学習推進事業	所管課・係	教育文化課 社会教育係
施策体系	第2章 生きがいと活力を創る生涯学習の推進 第1節 生涯学習の充実による社会力の育成 1 公民館活動の充実 2 推進体制の充実 第3節 家庭・幼児教育の充実 1 親の学習機会の充実	予算科目	10 教育費 4 社会教育費 2 公民館費

2. 事業の概要

事業目的	生涯学習推進に向け、住民の主体的な活動を支援するため学びのきっかけづくりを行う。
事業内容	人生の各ステージにおける学びの場の設定と各種団体等の活動支援、生涯学習に関する情報提供。 家庭教育に関する学習機会の提供 A L Tを活用した学習機会の提供。イベントを通じた住民活動の発表機会の提供。 教育文化振興基金を活用したコンサートの実施。

3. 予算額・決算額

予算現額	6,864	決算額	5,987	(単位：千円 千円未満四捨五入)
(備考)				
講師謝礼等報償費1,908千円、事業用消耗品外需用費1,085千円、生涯学習カレンダー等印刷製本費840千円、公民館総合補償制度加入保険料 172千円、映画上映業務委託料288千円、文化祭共催負担金 500千円、手作り工芸まつり負担金 200千円、山響負担金 91千円、舟唄太鼓の会活動補助金 80千円、芸術文化団体協議会補助金60千円 外				

4. 事業の実施状況

少年少女書道教室 (39回、登録70人、延2,041人)、英会話 (3回、登録7人、延18人)、カルチャー教室 (9教室50回、延358人)、シルバーカレッジ (学習講座4回、館外研修1回、登録62人、延184人)、おらだのまち探訪 (5回、登録24人、延76人)、女子カアップ講座 (8回、登録40人、延198人)、若者塾 (通年、6人)、まちづくり出前講座 (9件、213人)、生涯学習カレンダー・生涯学習のすすめ・お知らせ版「生涯学習のひろば」を活用した情報提供、あじさい手作り工芸まつり (42団体出展、来場者800人)、教育文化振興基金活用事業 (ぶくらすコンサート「山形弦楽四重奏団」200人)、町民ふれあい会館ホワイエ展示21団体 外
--

5. 事業の評価

評価の視点 (評価項目)	評価	評価の理由
必要性 社会情勢や町民ニーズの変化に対応しているか	<input type="checkbox"/> 適切に対応している <input checked="" type="checkbox"/> 概ね対応できている <input type="checkbox"/> ほとんど対応できていない	参加者による運営委員会を設置し、ニーズを踏まえた内容の学習機会を設け実施している。
効率性 経費に見合った効果が得られているか	<input type="checkbox"/> 十分に効果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 概ね効果が得られている <input type="checkbox"/> 効果があまり得られていない	各種教室、講座等については、参加者より参加料を負担していただき、効率的に開催している。
有効性 期待された成果は得られたか	<input type="checkbox"/> 期待した成果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 概ね期待した成果が得られている <input type="checkbox"/> 期待した成果があまり得られていない	各種教室、講座等に参加者自ら意欲的に参加し、学びのきっかけづくりとなっている。

6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	成人、女性の学びのきっかけづくりとして、おらだのまち探訪、女子カアップ等の講座、並びに高齢者の学びの場としてシルバーカレッジを引き続き実施した。 平成29年度より生涯学習の充実、居場所づくり、出番づくりの場を創出する「おおえ町民大学 ぶくらすカレッジ」開校していく。 町民が主体となる「でばん講座」「ぶくらすカレッジサポーター」の強化を図る。あわせて、団体やグループ、地域の学習機会をつくるため、「まちづくり出前講座」「フリープラン講座」の充実を図る。

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	読書推進事業	所管課・係	教育文化課 社会教育係
施策体系 [教育振興計画]	第2章 生きがいと活力を創る生涯学習の推進 第2節 読書活動の推進 1 読書活動の推進	予算科目	10 教育費 04 社会教育費 03 図書館費

2. 事業の概要

事業目的	読書に親しむことにより豊かな心を育み、より深く生きる力を身につけ地域社会に温かい絆を広げたいため、施設・蔵書・図書活動の充実を図る。
事業内容	図書購入、図書貸出返却等整理作業、企画展示（毎月）、レファレンス業務、パスファインダーの作成おはなしボランティア活動（全12回）、おおえ図書館倶楽部との共同企画実施

3. 予算額・決算額

予算現額	8,074	決算額	7,997	（単位：千円 千円未満四捨五入）
（備考） 臨時雇賃金 3,547千円、図書購入 2,199千円、雑誌購入等需用費 760千円、蔵書管理システム借上料等 1,365千円 ボランティアサークル活動補助金 60千円 外				

4. 事業の実施状況

	H28図書購入1,630冊・寄贈本登録冊数 1,557冊 H29.3月末現在図書蔵書数 32,296冊 H28図書貸出冊数 13,112冊（一般書4,891冊 児童書7,884冊 雑誌251冊 外） H28図書館利用者カード登録者数 1,066人 H29.3月末図書の整理と貸出、レファレンス業務（図書臨時職員3名） おはなし会の実施（12回、いとぐるま、毎月第4土曜日）
--	--

5. 事業の評価

	評価の視点（評価項目）	評価	評価の理由
必要性	社会情勢や町民ニーズの変化に対応しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適切に対応している <input type="checkbox"/> 概ね対応できている <input type="checkbox"/> ほとんど対応できていない	社会情勢の変化に対応し、図書に親しむ環境をつくるため、新中央公民館に併設する新図書館について、町民参加による「みんなで語ろう“おらだの図書館”」参加者より意見をいただいた。
効率性	経費に見合った効果が得られているか	<input type="checkbox"/> 十分に効果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 概ね効果が得られている <input type="checkbox"/> 効果があまり得られていない	一般書・児童書ともに計画的に購入を行うとともに、ボランティアによるおはなし会の実施や図書の整理等を行った。また、蔵書管理システムを導入し、セルフ貸出や図書館のホームページ開設を行った。
有効性	期待された成果は得られたか	<input type="checkbox"/> 期待した成果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 概ね効果が得られている <input type="checkbox"/> 期待した成果があまり得られていない	新図書館開館に合わせ、蔵書管理システムの導入、臨時職員の増、蔵書の充実、図書の適正な整理などを実施し、利用者の利便性の向上を図り、結果として来館者及び貸出冊数の増となった。また、図書館を支援するボランティアサークル「おおえ図書館倶楽部」設立の支援を行い、主体的な住民の関わりを得ることができた。

6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	多様化する町民のニーズに対応できる蔵書及び雑誌等の充実、レファレンスサービス、パスファインダーの整備、季節に合わせた企画展示等各年齢層に対する多様なサービスを提供してきた。今後は、図書館に足を運ばない方が来館したくなるような企画展示の実施及び周知、並びに学習のニーズに対応できる蔵書の充実化、パスファインダーの整備等を実施していく。

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	放課後子どもプラン推進事業	所管課・係	教育文化課 社会教育係
施策体系 [教育振興計画]	第2編 施策の方針 第2章 生きがいと活力を創る生涯学習の推進 第4節 地域における子育て環境の充実	予算科目	10 教育費 4 社会教育費 1 社会教育総務費

2. 事業の概要

事業目的	放課後における安全な居場所づくりと体験型の多彩な教室を開催し、自ら考え、学び、遊べる子どもを育てる。
事業内容	放課後や週末、夏季等学校長期休業中に、子どもの安全な居場所づくりとして見守り形式の放課後子どもひろばと、定期的に体験型の多彩な教室を開催する放課後子ども教室を実施し、町の将来を担う子ども達の豊かな情操、社会力を育む。

3. 予算額・決算額

予算現額	5,344	決算額	5,079	(単位：千円 千円未満四捨五入)
(備考) 社会教育指導員の配置 1,464千円、学習生活指導補助員賃金 1,569千円、運営委員・教育活動推進員・教育活動サポーター報償 1,768千円 外 補助対象経費 3,733千円に対して、国1/3、県1/3、計2,489千円の補助を受けて実施。 運営委員8人、教育活動推進員10人、教育活動サポーター32人 体験型教室参加児童実人員110人〔絵画教室(10回、延べ81人)、手芸教室(10回、延べ153人)、ものづくり教室(9回、延べ108人)、運動教室(20回、延べ178人)、料理教室(4回、延べ93人)、自然体験塾(4回、延べ57人)〕				

4. 事業の実施状況

子どもたちが参加しやすいように、学校授業日は各小学校に会場を変更し4年目、居場所づくりとしての放課後子どもひろばを行った。また、定期的に絵画、手芸、工作、運動、自然体験等の体験教室を実施。多彩な学習の場を提供し、多くの子どもの興味を引けるよう実施した。
--

5. 事業の評価

評価の視点(評価項目)	評価	評価の理由
必要性 社会情勢や町民ニーズの変化に対応しているか	<input type="checkbox"/> 適切に対応している <input checked="" type="checkbox"/> 概ね対応できている <input type="checkbox"/> ほとんど対応できていない	放課後の子ども達の安全な居場所、学習の場として定着している。
効率性 経費に見合った効果が得られているか	<input type="checkbox"/> 十分に効果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 概ね効果が得られている <input type="checkbox"/> 効果があまり得られていない	町民の方々から、持っている能力を活かした有償ボランティアの教育活動推進員、教育活動サポーターとして協力をいただき開催できている。
有効性 期待された成果は得られたか	<input type="checkbox"/> 期待した成果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 概ね期待した成果が得られている <input type="checkbox"/> 期待した成果があまり得られていない	多彩な教室を開催し、子ども達へ選択肢を広げている。教育活動推進員、教育活動サポーターの意欲、参加者の好奇心の向上がみられる。

6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	放課後子ども教室の実施にあたっては、教育活動推進員、教育活動サポーターの協力が不可欠であるため、その養成と確保に努め、今後も事業の充実を図りながら継続していく。放課後子どもひろばは子どもの安全な居場所づくりという視点から、25年度から学校授業日は各小学校会場で実施したことにより参加者が多くなったが、平成29年度に学区ごと学童クラブが設置され、一本化していく。今後は放課後子ども教室に注力していく。

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	芸術文化振興事業	所管課・係	教育文化課 歴史文化係
施策体系 [教育振興計画]	第3章 うるおいと誇りを創る芸術文化と文化財保護の推進 第1節 芸術文化の振興 ①芸術文化活動の充実	予算科目	10 教育費 04 社会教育費 02 公民館費

2. 事業の概要

事業目的	文化事業の開催や芸術文化団体への支援により、町の芸術文化の振興を図る。
事業内容	教育文化振興基金活用事業、文化祭、芸術文化団体への支援

3. 予算額・決算額

予算現額	1,009	決算額	1,009	(単位：千円 千円未満四捨五入)
(備考) 教育文化振興基金活用事業 「ぶくらすコンサート～弦楽四重奏の夕べ～」事業 278千円 文化祭共催事業負担金 500千円、山形交響楽協会負担金 91千円、おおえ舟唄太鼓の会補助金 80千円 芸術文化団体協議会補助金 60千円				

4. 事業の実施状況

教育文化振興基金活用事業「ぶくらすコンサート～弦楽四重奏の夕べ～」：11月14日 中央公民館 200名の参観 文化祭：10月28日から30日の3日間、中央公民館・ふれあい会館、延べ 2,752人の参観 音の文化祭（ひなまつりコンサート）：3月19日、ふれあい会館、延べ 432人の参観 芸術文化団体への支援として負担金補助金の交付（山響、舟唄太鼓の会、芸文協）

5. 事業の評価

評価の視点（評価項目）	評価	評価の理由
必要性 社会情勢や町民ニーズの変化に対応しているか	<input type="checkbox"/> 適切に対応している <input checked="" type="checkbox"/> 概ね対応できている <input type="checkbox"/> ほとんど対応できていない	文化祭・音の文化祭（ひなまつりコンサート）、また、中央公民館のオープンに合わせてぶくらすコンサートを開催したことにより、町民が芸術文化に触れる機会を設けることができた。
効率性 経費に見合った効果が得られているか	<input type="checkbox"/> 十分に効果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 概ね効果が得られている <input type="checkbox"/> 効果があまり得られていない	一部の事業に芸術文化振興基金を活用するなどしながら、町民が芸術文化に触れる機会を得られた。
有効性 期待された成果は得られたか	<input type="checkbox"/> 期待した成果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 概ね期待した成果が得られている <input type="checkbox"/> 期待した成果があまり得られていない	多くの参観者に芸術文化を公開し、また、情報を発信することができた。

6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	芸術文化イベント及びコンサート等の開催や、団体の支援・育成により今後とも芸術文化の振興を図る。

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	文化財保護事業	所管課・係	教育文化課 歴史文化係
施策体系 [教育振興計画]	第3章 うるおいと誇りを創る芸術文化と文化財保護の推進 第2節 文化財の保護活用 ① 文化財の保存・整備	予算科目	10 教育費 04 社会教育費 05 文化財保護費

2. 事業の概要

事業目的	文化財の保護・活用及び郷土芸能継承団体への支援により町民の文化振興を図る。
事業内容	文化財の管理・活用、青苧調査事業の実施 郷土芸能継承団体育成のための補助金交付、指定文化財管理のための補助金交付 歴史民俗資料館の管理と活用事業の実施

3. 予算額・決算額

予算現額	3,265	決算額	2,781	(単位：千円 千円未満四捨五入)
(備考) 文化財保護委員報酬 160千円、指定文化財管理補助金 70千円、郷土芸能伝承補助金 200千円、 青苧調査事業 500千円、 歴史民俗資料館管理・活用に係る経費 1,851千円 (賃金 564千円、謝礼 336千円、光熱水費 311千円、警備委託料 191千円 外)				

4. 事業の実施状況

文化財保護委員会の開催 (1回、委員5名)、指定文化財補助金交付 (県3、町4)、郷土芸能継承団体補助金交付 (10団体) 歴史民俗資料館活用事業 (入館利用者数・1,857人) 文化祭協賛行事 伝統食のつどい (10/29) 84名参加 小正月行事 (1/8) 52名参加 ひなまつり (3/26~29) 510名参加
--

5. 事業の評価

評価の視点 (評価項目)	評価	評価の理由
必要性 社会情勢や町民ニーズの変化に対応しているか	<input type="checkbox"/> 適切に対応している <input checked="" type="checkbox"/> 概ね対応できている <input type="checkbox"/> ほとんど対応できていない	大江町の青苧のルーツを探るため、山形大学にいたくして遺伝子解析調査に取り組んだ。 歴史民俗資料館については、主催事業のほか各種団体にも活用されており、町文化財の周知につながっている。
効率性 経費に見合った効果が得られているか	<input type="checkbox"/> 十分に効果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 概ね効果が得られている <input type="checkbox"/> 効果があまり得られていない	郷土芸能伝承・保存団体や指定文化財管理者への補助金を交付することで、団体または管理者が保存、保護を行うことにより適正な伝承、管理が行われている。
有効性 期待された成果は得られたか	<input type="checkbox"/> 期待した成果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 概ね期待した成果が得られている <input type="checkbox"/> 期待した成果があまり得られていない	郷土芸能伝承・保存経費の一部を補助することにより各種団体による保存・伝承が行われている。 指定文化財管理者への補助金交付により適正な管理が行われている。

6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	文化財や伝統芸能は失くしてしまえば元に戻すことは容易なことではないため、更なる支援の拡充を図り、今後とも新たな町指定物件の追加を含めた文化財の保護・活用を推進し、町の歴史・文化を次世代に伝えていく。

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	左沢楯山城跡保存整備事業	所管課・係	教育文化課 歴史文化係
施策体系 [教育振興計画]	第3章 うるおいと誇りを創る芸術文化と文化財保護の推進 第2節 文化財の保護活用 ① 文化財の保存・整備	予算科目	10 教育費 04 社会教育費 05 文化財保護費

2. 事業の概要

事業目的	史跡「左沢楯山城跡」の保存・整備及び利活用により町づくりに資する。
事業内容	・史跡「左沢楯山城跡」の第1期整備を目的とした発掘調査及び地形図作成業務の実施。

3. 予算額・決算額

予算現額	14,127	決算額	13,648	(単位：千円 千円未満四捨五入)
(備考) 発掘調査作業員賃金 903千円、保存整備検討委員会委員等報償・旅費 700千円、発掘調査時調査員報償・旅費 326千円、発掘調査報告書印刷製本費 729千円、地形図作成測量業務委託料 6,697千円、発掘調査測量委託料 2,959千円、出土炭化物分析業務委託料 275千円、支障木伐採・廃棄業務委託料 324千円、機械等借上料 154千円 原材料費 63千円、消耗品費 252千円 外				

4. 事業の実施状況

保存整備検討委員会の開催（4回）、史跡保存管理（日常維持管理）、 発掘調査（八幡座谷部登り口、堀切南側、干置敷地区南部）、発掘調査報告書作成、地形図作成測量業務、 発掘調査測量委託、出土炭化物分析業務、支障木伐採・廃棄業務

5. 事業の評価

評価の視点（評価項目）	評価	評価の理由
必要性 社会情勢や町民ニーズの 変化に対応しているか	<input type="checkbox"/> 適切に対応している <input checked="" type="checkbox"/> 概ね対応できている <input type="checkbox"/> ほとんど対応できていない	町民の誇りである国指定史跡「左沢楯山城跡」の今後の管理や整備を推進するため、史跡全体の航空測量を実施し、地形図を作成した。
効率性 経費に見合った効果が得 られているか	<input type="checkbox"/> 十分に効果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 概ね効果が得られている <input type="checkbox"/> 効果があまり得られていない	第1期保存整備目的発掘調査が終了し、総括報告書を刊行した。平成25年の豪雨災害により整備を延期していたが、平成29年度より第1期整備事業に着手していく。
有効性 期待された成果は得られ たか	<input type="checkbox"/> 期待した成果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 概ね期待した成果が得られている <input type="checkbox"/> 期待した成果があまり得られていない	文化財として保護を図るため、保存管理計画に基づき適正な管理を行った。また、第1期保存整備を目的とした発掘調査も概ね順調に推進することができた。

6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	引き続き、保存整備検討委員会等を開催しながら、第1期整備事業を実施していくとともに、平成33年度からを予定している第2期整備に向けた発掘調査を実施しながら史跡「左沢楯山城跡」の保存及び整備を推進する。

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	文化的景観推進事業	所管課・係	教育文化課 歴史文化係
施策体系 [教育振興計画]	第3章 うるおいと誇りを創る芸術文化と文化財保護の推進 第2節 文化財の保護活用 ② 文化財の活用	予算科目	10 教育費 04 社会教育費 05 文化財保護費

2. 事業の概要

事業目的	国の選定を受けた重要文化的景観「最上川の流通・往来及び左沢町場の景観」の保護を活用を図る。
事業内容	重要な構成要素「清野家」、「富士屋」、「高取家」、「大滝山不動堂」修繕工事及び「菊地靴屋」修繕に係る設計業務の実施 文化的景観を活用したまちづくりに関する事業を検討するための「文化的景観保存整備検討委員会」の開催 文化的景観の理解を深め、活用していくためのワークショップ・絵画コンクールの実施

3. 予算額・決算額

予算現額	27,267	決算額	27,062	(単位: 千円 千円未満四捨五入)
(備考)				
保存整備検討委員会委員等報償・旅費 470千円、ワークショップ謝礼・旅費 114千円、 絵画コンクール報償費 93千円、菊地靴屋実施設計委託料 1,566千円、清野家工事監理委託料 626千円、 清野家修繕工事費 19,503千円、大滝山不動堂屋根補修工事費 1,971千円、高取家屋根補修工事費 891千円 富士屋修繕工事費 1,564千円、消耗品費 144千円 外				

4. 事業の実施状況

文化的景観保存整備検討委員会の開催(2回)、文化的保存整備検討委員会建築部会の開催(3回)、 文化的景観ワークショップの開催(3回(打合せ含む))、重要な構成要素「清野家」、「大滝山不動堂」、 「高取家」、「富士屋」補修工事及び「清野家」工事監理業務、「菊地靴屋」実施設計業務の実施、 絵画コンクール実施

5. 事業の評価

評価の視点(評価項目)	評価	評価の理由
必要性 社会情勢や町民ニーズの 変化に対応しているか	<input type="checkbox"/> 適切に対応している <input checked="" type="checkbox"/> 概ね対応できている <input type="checkbox"/> ほとんど対応できていない	日々の生活に根ざした身近な景観の文化的な価値を正しく評価し、地域で護り、次世代へと継承していくことができる。
効率性 経費に見合った効果が得 られているか	<input type="checkbox"/> 十分に効果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 概ね効果が得られている <input type="checkbox"/> 効果があまり得られていない	整備計画書1に基づき、国・県の補助を受けて「清野家」、「大滝山不動堂」、「高取家」、「富士屋」の補修工事及び「清野家」の工事監理業務、「菊地靴屋」の実施設計業務を実施した。
有効性 期待された成果は得られ たか	<input type="checkbox"/> 期待した成果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 概ね期待した成果が得られている <input type="checkbox"/> 期待した成果があまり得られていない	「最上川の流通・往来及び左沢の町場の景観」が、県内初となる国の重要文化的景観に選定され、事業を推進することにより、町内外に広く文化的景観の町であることをアピールできた。

6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	文化的景観は、日々の生活に根ざした身近な景観であるため、日頃の価値にはなかなか気づきにくいものである。国の重要文化的景観選定を受け、今後、これをどのようにまちづくりへと活かしていくか、町民の誇りと意識を高め、次世代へと継承していくことが出来るかを検討する必要がある。事業の具体的な進め方としては整備計画1に基づく重要な構成要素等の保存整備と合わせ、整備計画2を策定してサイン等の案内看板等の整備を進めていくほか、絵画コンクールなどのソフト事業も推進していく。

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	体育振興事業	所管課・係	教育文化課 体育振興係
施策体系 〔 教育振興計画 〕	第2部ふるさと人の育成 心豊かに学び つながる人づくり 第4章たくましい心と体を育てる生涯スポーツと「人」づくり 第1節スポーツ・レクリエーション活動の推進 第2節スポーツ施設の整備・充実	予算科目	10 教育費 5 保健体育費 1 保険体育総務費 2 体育施設費

2. 事業の概要

事業目的	多様なニーズに対応できる体系を構築し、多くの住民が気軽に参加できるスポーツ活動を推進する。
事業内容	指導体制の充実 ニュースポーツ及びレクリエーション活動の推進 駅伝及び剣道競技の強化支援 全国大会出場選手への激励金交付

3. 予算額・決算額

予算現額	5,608	決算額	5,196	(単位：千円 千円未満四捨五入)
スポーツ推進委員報償費165	社会体育推進員135	全国大会出場激励金交付100		
小鳥山スキー教室及び駅伝指導者謝礼205	左沢高校剣道部育成補助金200			
体育施設工事費3,492	体育施設備品購入費170			
多目的交流広場管理委託料729				

4. 事業の実施状況

スポーツ推進委員11名委嘱、社会体育推進員54名委嘱、全国大会出場者(10個人)へ激励金交付、小鳥山スキー教室を3回開催し延べ80名参加、駅伝指導者謝礼(地区駅伝8名・Jr駅伝8名の監督、コーチに謝礼支払) 体育センターWiFi設置工事、体育センター非常灯修繕工事、町民プールろ過機・注入器修繕工事、蛍水運動公園・森ノ宮公園管理委託

5. 事業の評価

評価の視点(評価項目)		評価	評価の理由
必要性	社会情勢や町民ニーズの変化に対応しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 適切に対応している <input type="checkbox"/> 概ね対応できている <input type="checkbox"/> ほとんど対応できていない	地区や学校関連団体よりレクリエーションの問い合わせが増加していることから、気軽に楽しめるニュースポーツの普及を継続していきたい。
効率性	経費に見合った効果が得られているか	<input type="checkbox"/> 十分に効果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 概ね効果が得られている <input type="checkbox"/> 効果があまり得られていない	スポーツ推進委員やスキークラブ等の各種団体と連携して事業展開を行うことにより、事業効率を上げることができた。
有効性	期待された成果は得られたか	<input type="checkbox"/> 期待した成果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 概ね期待した成果が得られている <input type="checkbox"/> 期待した成果があまり得られていない	全国大会出場者激励金交付対象者の年齢制限の撤廃を行ったことにより小学生にも激励金が交付できることとなり、対象者が増加した。

6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	体育協会等スポーツ各種団体と連携を図りながら、ニュースポーツを中心に多くの住民が気軽に参加できるスポーツ・レクリエーション活動を推進する。

事務事業点検・評価調書

1. 事業名等

事業名	スポーツ団体育成事業	所管課・係	教育文化課 体育振興係
施策体系 〔教育振興計画〕	第2部ふるさと人の育成 心豊かに学び つながる人づくり 第4章たくましい心と体を育てる生涯スポーツと「人」づくり 第3節スポーツ団体の育成支援	予算科目	10 教育費 5 保健体育費 1 保健体育総務費

2. 事業の概要

事業目的	スポーツ団体及び、総合型地域スポーツクラブの活動支援をおこなう
事業内容	スポーツクラブ活動の支援 スポーツ振興基金を運用した競技団体の活性化事業 体育協会の活性化、スポーツ大会の充実のための支援と加盟団体等の活動支援

3. 予算額・決算額

予算現額	6,890	決算額	6,860	(単位：千円 千円未満四捨五入)
総合型地域スポーツクラブ補助金3,000 体育協会補助金3,810 競技団体活性化補助金50				

4. 事業の実施状況

総合型地域スポーツクラブ0-STEP事業 フィットネス、ヨガ、太極拳教室等通年教室が8教室、テニス、サッカー教室等の季節教室が5教室、計13教室を実施し、会員数は199名、延べ4,170名の参加があった。
団体活性化補助金(スポ少1団体)
体育協会事業(ソフトボール5/29 24チーム、舟唄健康マラソン6/26 248名、縦断駅伝10/9 10チーム つなひき1/29 13チーム)

5. 事業の評価

評価の視点(評価項目)		評価	評価の理由
必要性	社会情勢や町民ニーズの変化に対応しているか	<input type="checkbox"/> 適切に対応している <input checked="" type="checkbox"/> 概ね対応できている <input type="checkbox"/> ほとんど対応できていない	総合型地域スポーツクラブ0-STEPの活動がスタートし5年目にあたるが、新規教室の追加等を行い町民の多様なニーズに応えるべく運営が行われている。
効率性	経費に見合った効果が得られているか	<input type="checkbox"/> 十分に効果が得られている <input checked="" type="checkbox"/> 概ね効果が得られている <input type="checkbox"/> 効果があまり得られていない	各種イベントでは、安易に外注することなく自分達で行うことにより予算を効率的に執行している。
有効性	期待された成果は得られたか	<input checked="" type="checkbox"/> 期待した成果が得られている <input type="checkbox"/> 概ね期待した成果が得られている <input type="checkbox"/> 期待した成果があまり得られていない	0-STEP事業では会員数及び教室への参加者も定着し、リピーターを得ることができた。新規教室も立ち上げてより多くの世代層の会員の確保ができています。

6. 今後の対応等

方向性	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休廃止
今後の対応	既存団体や総合型地域スポーツクラブの活動へ引き続き支援を行うとともに、幅広いニーズに対応する教室が定着しつつあるので、会員増加に繋がるように周知広報を充実する。

教育委員会事務事業点検・評価報告書（平成 28 年度分）

平成 29 年 9 月

大江町教育委員会 教育文化課

〒990-1163

山形県西村山郡大江町大字-本郷丁 373 番地の 1

TEL : 0237-62-2270、3666（代表） FAX : 0237-62-3667